

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス もみのき			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 22日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が興味を持つ活動を幅広く用意して実施している。	学校休業日は課外活動や調理活動、工作や季節の活動など様々な活動を取り入れている。ご利用者様よりやりたい活動や好きな活動を教えていただき活動に取り入れることでそれぞれの興味関心に合わせた活動を取り入れ楽しく活動が出来るようにしている。	今年度の活動を振り返り職員同士で話し合い、反響が良かった活動を洗い出しプラスアップすることで、今まで以上に子ども達が楽しみながら社会性を身に着けられるような活動を実施していく。
2	一人ひとりの児童に合わせた支援を実施している。	集団活動でルールを守る事や他者との関りを実践している。また、個別活動として社会性を育むための座学・発音発語の練習など、それぞれのニーズに合わせた療育を実施している。	それらの状態に合わせた療育を提供するため、日々児童の様子を共有して療育内容の見直しを行い、職員全体で療育を行っていく。
3	楽しんでご利用いただいている。	職員が児童の遊びに加わり率先して空気感を作っていくことによって明るい雰囲気づくりを行っている。また、児童が新鮮な気持ちで遊べるように人形やカードゲームなど幅広い玩具を揃え、定期にラインナップの見直しをしている。	今後やってみたいこと・遊びたい玩具などを児童から公募する機会を増やし、玩具の購入やイベントに反映できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	現時点で地域との交流の活動などを行っていない。	児童が地域と交流できるよう活動の範囲を広げる。子どもセンターでの活動等も実施できるように計画をする。
2	SNSの更新が不定期。頻度も少ない。	現在月1回の更新を行っているが、更新時期を決めておらず、夏頃に更新ができていない時期があった。	SNSを更新する予定を事業所で組み、定期的に更新できるようにしていく。
3	利用希望者が多数いるが、定員の関係で希望者が利用できない。 。	1日の利用定員が10名の施設だが、利用希望者が10名を超えてしまいキャンセル待ち児童が発生している。	市や都と相談しながらご利用のニーズに合わせて対応できるようにしていく。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	もみのき
------	------

公表日 令和7年12月22日

利用児童数 20名

回収数 16枚

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3	1	2	もう少し広いといい。	広くすることは難しいので、鉄棒など使わない時は倉庫に入れて広く空間を使えるようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			4	先生が何人で、広さに対してどのように活動しているのか見てない。	送迎の際の説明だけでなく、希望に合わせて活動を見学していただけるようにする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	1	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1		3		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1	不適切な行動があった時に、子どもが気持ちを切り替えるなどの対応をしてくれた。	今後も継続して児童の特性に合わせた支援を行います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	1		特性を理解した適切な計画であると思います。	今後も継続してニーズに合わせた計画を作成します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているだと思いますか。	13	1	1	1	定期的に課外活動があり、子どもの新たな特性を認識できている。その機会を増やしてほしい。	今後も継続して課外活動に取り組みます。また、課外活動の機会を増やしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	5	7	無くていい。施設の児童で仲良くできればと思う。	施設内で交流することを大切にし、今後地域との交流も作って行けたらと考えております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	7	2	年1~2回ほど保護者参加のイベントがあるといい。	3年以内に保護者の方が参加できる活動を計画しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15		1		当日の様子を送迎の際にしっかりと伝えもらっている。	継続して送迎の際に様子などお伝えいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		4		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	7	4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	3		6		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	1		日々の報告で、子どもの好ましくない行動を報告を聞いた時も、落ち込まないような声掛けをしてくれている。	継続してお伝えできるようにいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			6	把握できていない。機会があったら伺いたい。	定期的にHPなどでお伝えできるようにいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2		8	把握できていない。機会があったら伺いたい。	定期的にHPなどでお伝えできるようにいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			3	把握できていない。機会があったら伺いたい。	定期的にHPなどでお伝えできるようにいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			3	体調不良等すぐに連絡をいただける。	こちらこそ、ご対応いただきありがとうございます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			今まで通った中で一番楽しんでいる。お迎えの際に嫌がる様子なく行けている。	今後も楽しく活動できるように頑張ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3			今まで通った中で一番楽しんでいる。休日のイベントを楽しみにしている。	今後も楽しくイベント活動ができるよう頑張ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2		1	課外活動を増やしてほしい。運動や友達との関わり方など勉強できている。	計画を見直し、利用者が楽しく課外活動など行えるよういたします。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	もみのき	公表日	2025年12月22日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	児童10名に対して職員を4~5名配置し、個別療育を行えるようにしている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	児童がわかりやすいように、扉や壁にプリントを貼り、視覚的にわかりやすいようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		自由活動などで意図的に自己決定できる場面を作る。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		卒業生が出たら情報共有などできるように準備していく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4		計画し数年をかけて実施できるようにしていく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	3		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	現在アレルギーの児童はいない。事前にアレルギーの確認、指示通りに対応できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			